

がんばろう！東北

緊急情報／防災情報

平成23年4月1日19時00分
東北地方整備局

【防災情報】（記者発表）東北地方整備局地震災害情報（第50報）

国土交通省東北地方整備局は、平成23年3月11日14時46分に三陸沖を震源とする地震が発生したため、災害対策本部(非常体制)を設置しました。
東北地方整備局管内の対応状況は次のとおりです。

1. 地震概要

発生日時 : 平成23年3月11日14時46分
震源 : 三陸沖
規模 : マグニチュード9.0
地震名 : 「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」
大津波警報 : 青森県日本海沿岸(12日13:50津波注意報に切替、12日20:20に解除)
青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県(12日20:20津波警報に切替、13日7:30津波注意報に切替、13日17:58解除)

2. 対応の状況

- ①リエゾンを派遣し、自治体との連絡を密にしています。青森県庁、岩手県庁、宮城県庁、福島県庁、15市7町2村(久慈市、野田村、田野畑村、宮古市、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、気仙沼市、南三陸町、女川町、石巻市、東松島市、塩釜市、七ヶ浜町、多賀城市、仙台市、名取市、岩沼市、亘理町、山元町、相馬市、いわき市)、陸上自衛隊に計80名を派遣しています。
- ②三陸沿岸都市等へのアクセスとなる15のルートが、太平洋沿岸に到達しています。
- ③15日より52箇所について、道路啓開及び応急復旧作業を実施しています。
- ④建設業協会連合会との協定に基づき、699チーム、6,708人、3,319台を投入しています。(数字は延べで記載)。
(道路：455チーム、3,284人、機械1,478台)
(河川：244チーム、3,424人、機械1,841台)
- ⑤日本埋立浚渫協会等との協定に基づき、現在は船団を10港(八戸港、久慈港、宮古港、釜石港、大船渡港、石巻港、仙台塩釜港(仙台港区)、仙台塩釜港(塩釜港区)、相馬港、小名浜港)に投入し、航路啓開作業を実施しています。
- ⑥防災エキスパート((社)東北建設協会)が、管内の9事務所及び自治体において災害対応の支援を実施しています。
(延べ828名、内自治体へのリエゾン203名)
- ⑦仙台空港等重要交通網施設が浸水している空港周辺において20日から最大25台の排水ポンプ車を配備して浸水区域の排水を実施し、28日から仙台空港アクセス鉄道トンネル部の排水を実施しています。
- ⑧29日から北上川(石巻市釜谷地区)で排水ポンプ車6台により排水を実施しています。

3. 4月1日の点検状況

【へりによる点検】

本日は、防災へり1機により岩手県・宮城県沿岸部の被害状況調査を実施。

【現地での点検】

(河川関係)

- ・3月13日までに管理延長=1,322km全区間について点検終了。

(ダム関係)

- ・3月12日までに直轄15ダムにおいて二次点検完了。異常なし。

(砂防関係)

- ・3月12日までに最上川水系、赤川水系、阿武隈川水系、八幡平山系、栗駒山系56箇所全て点検完了。(積雪により点検不可な176箇所を除く)。

(海岸関係)

- ・3月17日までに、現地点検を終了。

(道路関係)

- ・国道6号(原発地域を除く)、45号の点検を継続。

(営繕関係)

- ・災害応急対策活動に必要な合同庁舎等について安全性確認点検を行っており102施設の点検が完了。結果、確認された外壁はく落等の危険箇所については、立入禁止措置等の安全対策指導を行った。

【緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)】

(現地調査)

- ・河川、道路、海岸、下水道、建築物の公共施設(要請のあった自治体施設を含む)について、3/31までに延べ616班1,954名(13~31日)を派遣し、現地において被災状況調査等を実施。本日は、河川被害調査の分析業務、海岸及び建築物の津波被害調査等に関する調査を実施。
- ・港湾関係については、3/29までに延べ63班222人を投入。

4. 被災情報及び復旧状況

【河川関係】

- ・5河川(阿武隈川・名取川・北上川・馬淵川、鳴瀬川)、1,009箇所(クラック、天端陥没、法崩れ、堤防沈下)
- ・堤防の流出や堤防の天端の沈下等が確認された箇所について随時緊急復旧工事に着手中。
- ・詳細は別紙-1(緊急復旧関係)のとおり
- ・詳細は別紙-2(河川関係)のとおり
- ・詳細は別紙-3(ダム関係)のとおり
- ・詳細は別紙-4(砂防関係)のとおり

【道路関係】

- ・全面通行止め:2路線20箇所(6,45号)
- ・本線暫定開放:2路線5箇所(6,45号)
- ・詳細は別紙-5のとおり

【港湾関係】

- ・9港湾(八戸港、久慈港、宮古港、釜石港、大船渡港、石巻港、仙台塩釜港、相馬港、小名浜港)にて防波堤損壊等を確認。
- ・詳細は別紙-6のとおり

【官庁施設】

- ・状況が確認できた官庁施設368施設のうち126施設に被災を確認（津波浸水被害等）。なお、状況が確認できていない1施設については、原発等の影響により確認に時間を要す。

5. 救援・輸送ルートの確保

（道路関係）

- ・宮城・岩手県の内陸部を結ぶ国道・主要地方道について、県から道路情報を収集中。
- ・現時点で15ルートが使用可能…別紙-7
- ・秋田・山形県を含めた東北全県からの協力業者・資機材の手配中。

（港湾関係）

- ・太平洋側10港については、係留施設が復旧し、一部施設による緊急物資輸送対応が可能となった。
- ・詳細は別紙-9のとおり

6. 県・自治体等への応援

- ・リエゾンを宮城県庁、岩手県庁、青森県庁、福島県庁ほか、各県の市町を含め計80名を派遣。
- ・各県リエゾンの責任者には、応援内容を判断できる本局官クラスや事務所の事業対策官クラスを派遣。
- ・防災ヘリ画像の提供や照明車などの各県が不足している資機材を提供。
- ・現在、全国より、支援のため、排水ポンプ車約50台、照明車約50台、本部車など約30台、合計約130台が東北に集結。
- ・石巻市から要望のあった給水車については現在稼働中。
- ・要請を受け、排水ポンプ49台、照明車40台、対策本部車9台、待機支援車14台、衛星通信車7台、Ku-SAT14台が移動及び稼働中。
- ・詳細は別紙-8のとおり

<記者発表先：宮城県政記者会、東北電力記者クラブ、東北専門記者会>

問い合わせ先	
東北地方整備局	TEL:022-225-2171(代)
[総括]	企画部長 川嶋 直樹 (内線3111)